

平成 20 年度 (第 39 回)
兵庫県社会人都市対抗サッカー大会の記録
神戸市代表チーム

神戸市代表決勝進出！姫路代表に 1 対 0 で勝利、無失点記録更新中！

【試合日時】平成 21 年 2 月 15 日 (日) 11 時 kickoff (40 分ハーフ) <姫路市立陸上競技場>

【試合結果】1 : 0 (前半 1 : 0 / 後半 0 : 0)

【得点者(アシスト)】 鳥越 (松本)

スタメン				試合終了時			
11		9		11		9	
	鳥越		松本		鳥越		松本
19			8	8			20
	藤井		高須		高須		村山
	10	7			10	7	
		曾我部	辻本			曾我部	辻本
13	4	2	12	13	4	2	18
	中尾	西浦	九鬼		中尾	西浦	九鬼
			平松				藤本
		21				21	
		吉岡				吉岡	

【感想】前後半通して神戸が押し気味に試合を進めたが、相手も運動量があり何度か崩されかけた場面もあった。しかし、GKのナイスセーブや3試合無失点が物語るように神戸のDF陣は強く安定しており、一人が崩されても必ず次の選手がカットするという連携ができていたため、相手も後半途中からはロングシュートを放つのがやっとの状態であった。

攻撃に関して言えば、両ボランチがよくボールを拾ってくれたが、両サイドバックのオーバーラップが少なかったため2トップがサイドに流れたり下がり気味でボールを受ける場面が度々あり、また、2列目からの飛び出しも多くはなかったため、ボールは支配していたがシュートレンジが遠くなかなか決定機を作れなかった。

ただ、期待できるところは、複数の選手を経由したダイレクトや1タッチのパス交換でシュートまで撃てた場面が何度もあったので、次の試合はそのパス交換の位置をよりゴールに近いところで行えばもっと楽に得点できるであろう。

守備に関して一つ課題を挙げるならば、押され気味の苦しい時間帯ほどボールを大きく前線に蹴るのではなく、近くの選手に確実に繋いでいくということをもっと意識して実践して欲しい。

この3試合でこのチームは完成域に達し選手のモチベーションも非常に高いので、次節(西宮市代表戦)の勝利・優勝を確信した。

【目標】優勝！練習・試合毎に成長してきた今回の代表メンバー全員で残り1試合必ず勝利する！

【ギャラリー】

～準決勝の試合後（デジカメなんか撮ったことないわ(笑)！という森川氏が撮影）～



【記録】通算戦績3勝0敗、得点11、失点0 <H21.2.9現在>

得点		アシスト	
2得点	高須、松本、藤井、村山、鳥越	2アシスト	鳥越、辻本
1得点	中尾	1アシスト	高須、西浦、吉井、松本

以上

第二戦、神戸市代表は但馬代表に7対0で圧勝！

【試合日時】平成21年2月8日(日)11時kickoff(40分H-7) <姫路市立陸上競技場>

【試合結果】7:0(前半2:0/後半5:0)

【得点者(アシスト)】 鳥越(西浦) 藤井(辻本) 藤井(辻本) 村山(高須)
松本(-) 中尾(-) 村山(吉井)

スタメン				試合終了時			
11		9		13		9	
	鳥越		松本		中尾		松本
19			8	8			20
	藤井		高須		高須		村山
	10		15		10		15
	曾我部		辻本		曾我部		辻本
13	4	22	2	3	4	12	5
	中尾	西浦	米田	九鬼	川井	西浦	平松
		1				1	
		川崎				川崎	

【感想】前後半通して神戸が豊富な運動量で圧倒的にゲームを支配しシュート数もかなり上回ったが、相手のプレッシャーが弱いことが逆に神戸選手の球離れをワンタッチ分遅くさせてしまい、前半は神戸の良さの一つである早いパス回しからのサイド攻撃が思うようにできず2点止まりとなった。また、相手のイージーなクロスが神戸DF陣の間に入りシュートを撃たれるなどヒヤリとした場面があった。

修正後の後半は一転、中央でプレーするFWにMFやDFからのクサビのパスが入るようになり、落としたボールを早いパス交換を経てMFがサイドを駆け上がり早いクロスやそのままシュートまで持ち込む場面が増え、結果ゴールラッシュに結びついた。

神戸の選手はボールを失っても次の選手がすぐにカバーリングするなど選手皆でボールを奪う意識が高く、また、低い位置で奪ったボールを素早く前線まで運び積極的な攻撃を行えることが強みである。さらに、今回のように大差がついた試合でも守備意識を弱めることなく最後まで貪欲に得点を狙い続けた選手の姿勢は次節の勝利に結びつくであろう。

【目標】優勝！練習・試合毎に成長してきた今回の代表メンバー全員で残り2試合勝ち続けます！

【ギャラリー】

～積極的なサイド攻撃～



～ 第二戦の試合後 ～



【記録】通算戦績 2 勝 0 敗、得点 10、失点 0 < H21.2.8 現在 >

得点		アシスト	
2 得点	高須、松本、藤井、村山	2 アシスト	鳥越、辻本
1 得点	鳥越、中尾	1 アシスト	高須、西浦、吉井

以上

初戦、神戸市代表は尼崎市代表に3対0で快勝！

【試合日時】平成21年2月1日(日)10時kickoff(40分H-F) <姫路市立球技場-センター>

【試合結果】3:0(前半1:0/後半2:0)

【得点者(アシスト)】 高須(鳥越) 松本(鳥越) 高須(-)

スタメン				試合終了時			
	11	9			11	9	
	鳥越	松本			鳥越	松本	
19			8	8			20
藤井			高須	高須			村山
	10	15			10	23	
	曾我部	辻本			曾我部	藤本	
17	4	2	12	13	4	2	12
岩井	西浦	九鬼	平松	中尾	西浦	九鬼	平松
	21				21		
	吉岡				吉岡		

【感想】前後半通して神戸がゲームを支配しシュート数もかなり上回ったが、なかなかシュートが決まらず前半は1点止まり。カウンター攻撃でヒヤリとした場面はあったが、後半相手の運動量が落ちた時間帯に立て続けに2得点し、結果的には快勝であった。

前半は、初戦ということもあり神戸の特徴である両サイドDFの最前線への攻撃参加をセーブしセーフティーな試合展開であったが、反面FW・MF陣へのパスも単調になり、(ボールを失うリスクの高い)クサビのパスではなくサイドのスペースになりがちで、結果シュートレンジが遠くなかなか得点に結びつかなかった。

修正後の後半は一転、FWがあまりサイドに流れず中央でプレーし、空いたスペースをサイドDFがMFとの連携で攻撃参加するようになり、結果ペナルティーエリア周辺でのパス交換や2列目からの飛び出しが増えゴール前でのシュート、得点に結びついた。

神戸の選手は攻撃参加意識が高く、スピードのある選手も多いことから、前後半通して戦況に応じた複数の戦術的プランが描けることが強みである。

【目標】優勝！練習・試合毎に成長してきた今回の代表メンバー全員で残り3試合勝ち続けます！

【ギャラリー】

～サイドから切れ込んでの早いクロス～



～確実に決める～



【記録】通算戦績 1勝0敗、得点3、失点0 <H21.2.1現在>

得点		アシスト	
2得点	高須	2アシスト	鳥越
1得点	松本		

以上